

東北学院震災復興対策委員会（第6回）次第

日時：平成23年5月11日（水）常務理事会終了後

場所：土樋キャンパス1号館6階会議室

委員：平河内理事長（委員長）・星宮学院長（副委員長）宮城総務担当常任理事

関谷財務担当常任理事・柴田人事担当常任理事・高橋法人事務局長・斎藤学務担当副学長

高木法学部長・永井中学校・高等学校長・久能榴ヶ岡高等学校長・日野総務部長・高橋財

務部長・佐々木施設部長・佐藤庶務部長・斎藤庶務課長・若生人事課長・駒板財務課長

陪席：那須監事

黙祷 委員長 平河内 健治

協議事項

- 1、前回議事録確認
- 2、5月9日（月）からの礼拝場所（メール審議）・・・・・・・・・・ 1P
- 3、東北学院大学東日本大震災緊急給付奨学金規程（斎藤案 ver2）・・・・・・・・ 2～8P
- 4、地震災害見舞金の受領ならびに用途（図書館）について・・・・・・・・ 9～10P
- 5、東日本大震災に伴う保育料等の取扱い（案）・・・・・・・・・・ 11P
- 6、多賀城6号館空調設備工事について（お願い）・・・・・・・・・・ 12～13P
- 7、オープンキャンパス関連業務の災害復興資金からの拠出について・・・・ 14～17P
- 8、日帰り出張旅費支給の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18～19P
- 9、補正予算（復興関連教育研究部門からの発信機能の強化）・・・・・・ 20P
- 10、東北学院復興支援金における寄付者一覧・・・・・・・・・・・・ 21～22P
- 11、各研究室の安全確認および改修作業・・・・・・・・・・・・・・ 23P
- 12、「土樋キャンパス内東日本大震災復旧対策工事に伴う制限・規制について」・・ 24～25P
- 13、3キャンパス5月9日以降の各館の震災復旧状況一覧・・・・・・・・・・ 26～28P
- 14、東北学院大学放射線モニタリング・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29P
- 15、事業開始にあたっての大学施設安全確認について・・・・・・・・・・ 30～36P
- 16、東日本大震災による死亡・行方不明学生について（報告）・・・・・・ 37P
- 17、北海学園大学よりの見舞金について・・・・・・・・・・・・・・・・ 38P
- 18、東日本大震災状況調査（文部科学省提出）・・・・・・・・・・・・ 39～44P
- 19、被災見舞いへの御礼状（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45P

第5回 東北学院震災復興対策委員会議事録

日 時：平成23年4月27日（水） 14:05～15:40

場 所：1号館6階会議室

出席委員：平河内健治 星宮 望 宮城光信 関谷 登 柴田良孝 齋藤 誠 高木龍一郎
永井英司 湯本良次 高橋清昭、佐藤範明 高橋秀悦 日野 哲 佐々木文彦
齋藤英夫 若生克義 駒板高明 以上17名

陪 席：那須和良（監事）

協議事項

1. 前回議事録確認 委員会終了時までに確認いただき、承認された。
2. 「震災緊急給付奨学金」制度の創設について
説明：齋藤学務担当副学長 資料に基づき説明があり、制度設計モデル<Ⅰ>の形で規程化を進めることが承認された。なお、幼稚園、中学校、高等学校については県内の他の学校に動きを見たうえで規程化することとする。
3. 震災による内定取り消し者等の研究生受け入れについて
説明：齋藤学務担当副学長 資料に基づき、震災による内定取り消し者等を研究生として受け入れることについての説明があり、承認された。
4. F & M大学からの義援金について
説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、F & M大学からの義援金 15,000 ドルについて、辞退者3名への奨学金として使用する事について基本的には承認された。なお、3名の意思確認等も含め国際交流部長に詳細の確認をしていただくこととする。
5. 震災に伴う泉キャンパス OA 実習室の書棚修理及びパソコン修理願い
説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、承認された。
6. 全学オープンキャンパス地区発無料送迎バス利用案内のための高等学校訪問活動に伴うレンタカーの使用について
説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、承認された。
7. 災害備蓄品の補充
説明：佐々木施設部長 資料に基づき説明があり、願のとおりに承認された。なお、その他の必要な備蓄品については別途申請する。
8. 「教育実習事前指導4」の代替措置
説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、昨年度実施予定のものが実施できなかったことから、今年度を実施する予算措置について承認された。
9. 法科大学院学生・研究生の法総棟自習室等の利用制限解除
説明：柴田総務担当副学長 資料に基づき説明があり、願のとおりに承認された。なお、5月8日（日）は午後からの利用を認めることになる。

10. 東北学院大学泉キャンパス体育館震災復旧工事工程表

説明：佐々木施設部長 資料に基づき説明があり、承認された。なお、工学部吉田先生のグループにも、本委員会から確認の依頼をすることとした。

11. 学校施設耐震改修工事に係る調査

説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、今年度は耐震工事の計画が無い旨の回答をすることとすることで承認された。

12. 地震被害状況等についての調査依頼

説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、5月10日までに回答することが承認された。

14. 東日本大震災の被害状況（宮城県私学文書課へ提出）

説明：佐藤庶務部長 宮城県私学文書課へ資料のとおり提出した事が報告され承認された。

15. 4号館立ち入りの安全確認

説明：柴田総務担当副学長 資料に基づき説明があり、文学部長あてに施設部長から文書をもって5月9日以降に研究室の破損状況を確認しながら工事を進めることについて回答することが承認された。

16. 土樋キャンパスパーキングゲート更新

説明：高橋財務部長 資料に基づき説明があり、北門車輛ゲート分についてのみ予算措置を認めることが承認された。

17. 東北学院中学校・高等学校における東日本大震災からの復興に向けた基本方針

説明：永井中学校・高等学校長 資料に基づき説明があり、承認された。なお、支出については部門に処理することが確認された。

18. 被災学生支援措置の取扱いに係る確認事項

説明：齋藤学務担当副学長 資料に基づき、確認事項として4つのことについて説明があり、原案のとおり承認された。

19. 泉キャンパス2号館前花壇の取り壊し

説明：佐々木施設部長 資料に示された陥没等の花壇部分を撤去し、ブロックで修復するとの説明があり承認された。

以 上



返信期限: -
 返信先: [REDACTED]@c.jp
 配達完了: 2011/05/07 11:59
 開封済: 2011/05/07 12:00
 開封済/通知済: -
 差し替え: -

[illegible]

*****"LIFE, LIGHT, LOVE"*****
日野 哲 HINO, Satoshi
東北学院大学 総務部長
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL: 022-264-6501 FAX: 022-264-3030
E-mail: hino@kuin.ac.jp

東北学院大学東日本大震災緊急給付奨学金規程（斎藤案 ver.2）

（目的）

第1条 この規程は、「東北学院大学緊急給付奨学金規程」第1条ただし書きに基づき、東日本大震災被災学生を対象とする東日本震災緊急給付奨学金（以下「本奨学金」という。）に関して定める。

（対象）

第2条 本奨学金は、東日本大震災による被災が次のいずれかに該当する本学学生で、経済的困窮により修学困難な状態にある者を対象として給付する。

- （1）主たる家計維持者が死亡または行方不明の者
- （2）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊または流失した者
- （3）主たる家計維持者が所有する自宅家屋が半壊または津波により床上浸水した者
- （4）主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない者
- （5）その他震災による直接的被害により、主たる家計維持者が、甚大な経済的損失を受けた者

（併給）

第3条 前条の本奨学金対象者は、「東北学院大学緊急給付奨学金規程」および「東北学院給付奨学金規程」による奨学金に申請することはできない。ただし、その他の奨学金については申請および併給をさまたげない。

2 本奨学金は、「東日本大震災被災学生に対する救済措置に関する規程」による授業料減免または受験料免除と併せて受給することができる。

（給付継続）

第4条 本奨学金は、平成23年度から平成26年度まで、各年度の申請により採択された者に給付される。

2 前年度に本奨学金の給付を受けた者は、継続して給付を申請することができる。ただし、給付の継続は、経済的困窮により修学困難な状態が継続していると判定された者にかぎり認められる。

（給付額）

第5条 本奨学金の給付額は次の通りとする。

- （1）第2条第1号および第2号に該当する者 50万円
- （2）第2条第1号および第3号に該当する者 40万円
- （3）第2条第1号および第4号に該当する者 40万円
- （4）第2条第1号に該当する者 30万円

- | | |
|------------------------|------|
| (5) 第2条第2号および第4号に該当する者 | 30万円 |
| (6) 第2条第2号に該当する者 | 20万円 |
| (7) 第2条第3号および第4号に該当する者 | 20万円 |
| (8) 第2条第3号に該当する者 | 10万円 |
| (9) 第2条第4号に該当する者 | 10万円 |
| (10) 第2条第5号に該当する者 | 10万円 |

(申請時期)

第6条 本奨学金の申請は、本学が指定した期間に行わなければならない。

(申請書類)

第7条 本奨学金を申請する者は、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 奨学金申請書(本学所定)
- (2) り災証明書
- (3) その他本学が必要に応じて求める書類

(採否)

第8条 本奨学金の申請の採否は、「東北学院大学奨学金運営委員会(以下「運営委員会」という。)」が決定する。ただし、運営委員会委員長は、その決定を全学教授会および理事会に報告しなければならない。

2 運営委員会委員長は、前項の採否決定の後ただちに、申請者に対してその結果を通知しなければならない。

(給付)

第9条 本奨学金は、申請採択の決定の後、速やかに給付される。ただし、納入すべき学納金への充当が優先される。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、震災復興対策委員会の発議により理事会が行い、全学教授会に報告する。

附 則

この規程は、平成23(2011)4月1日より施行し、平成27(2015)年3月31日をもって廃止する。

＜参考＞ 被災学生に対する経済的支援策の必要経費（試算）

○ 授業料減免措置

（１）家計維持者の死亡・行方不明	12名	×	72万円	=	864万円
（２）家屋全壊・大規模半壊・流失	360名	×	36万円	=	12960万円
（３）家屋半壊・床上浸水	280名	×	18万円	=	5040万円
（４）原発避難	40名	×	18万円	=	720万円

小計 19584万円

○ 緊急給付奨学金

（１）死亡・全壊	6名	×	50万円	=	300万円
（２）死亡・半壊	4名	×	40万円	=	160万円
（３）死亡・原発	0名	×	40万円	=	
（４）死亡	2名	×	30万円	=	60万円
（５）全壊・原発	2名	×	30万円	=	60万円
（６）全壊	358名	×	20万円	=	7160万円
（７）半壊・原発	2名	×	20万円	=	40万円
（８）半壊	278名	×	10万円	=	2780万円
（９）原発	36名	×	10万円	=	360万円
（１０）その他	120名	×	10万円	=	1200万円

小計 12120万円

合計 31704万円

(「東北関東大震災：平成23年度予算執行等に関する基本方針」の「別紙の付表」)

罹災状態	予想人数	予想割合	救済措置	減免総額（円）
死亡・行方不明	24	0.2%	授業料1年分免除	17,304,000
家屋全壊	243	2.0%	授業料半期分の免除	87,601,500
家屋半壊・床上浸水	243	2.0%	授業料半期分の50%減免	43,800,750
（未納）退学者増加分	121	1.0%	授業料全額	87,241,000
合計	631	5.1%		235,947,250

(注2) 予想割合は、学生数=12300とした数。

(参考) 年間平均授業料 721,000 円

(オリエンテーションにおける学生課調査)

學生課： 4月30日 集計資料

罹災状態	人数	割合	備考
死亡・行方不明	0	0.0%	2～4年生で 10名
全壊・流失	93	3.1%	
半壊	58	1.9%	
一部損壊	97	3.2%	
原発からの避難	10	0.3%	
合計	258	8.6%	

(注3) 学生部長の部長会報告(5月9日)の人数は、「1、98、59、99、11」である。

Ⅲ 授業料の減免措置の試算

(オリエンテーションにおける学生課調査に基づく予想)

表3-1 授業料減免額の試算 (その1)

罹災状態	予想人数	予想割合	救済措置	減免総額 (円)
死亡・行方不明	10	0.1%	授業料1年分免除	7,210,000
全壊・流失・大規模半壊	400	3.3%	授業料半期分の免除	144,200,000
半壊・床上浸水・原発	400	3.3%	授業料半期分の50%減免	72,100,000
(未納)退学者増加分	20	0.2%	授業料全額	14,420,000
合計	830	6.7%		237,930,000

(注1) 罹災状態は、主たる家計維持者の罹災状態を示す。

(注2) 予想割合は、学生数=12300とした数。

表3-2 授業料減免額の試算 (その2)

罹災状態	予想人数	予想割合	救済措置	減免総額 (円)
死亡・行方不明	10	0.1%	授業料1年分免除	7,210,000
全壊・流失・大規模半壊	400	3.3%	授業料半期分の免除	144,200,000
半壊・床上浸水・原発	240	2.0%	授業料半期分の50%減免	43,260,000
(未納)退学者増加分	20	0.2%	授業料全額	14,420,000
合計	670	5.4%		209,090,000

(注1) 罹災状態は、主たる家計維持者の罹災状態を示す。

(注2) 予想割合は、学生数=12300とした数。

Ⅳ 東日本大震災緊急給付奨学金の給付予想
(新しい給付制度と学生課調査に基づく予想)

表4-1 東日本大震災緊急給付奨学金の試算 (その1)

罹災状態	予想人数	予想割合	奨学金給付額	給付総額 (円)
死亡・行方不明	10	0.1%		5,000,000
全壊・流失・大規模半壊			50万円	
半壊・床上浸水			40万円	
原発からの避難			40万円	
死亡・行方不明			30万円	
全壊・流失・大規模半壊	400	3.3%	20万円	80,000,000
半壊・床上浸水	400	3.3%	10万円	40,000,000
原発からの避難	40	0.3%		10,000,000
死亡・行方不明			40万円 (再掲)	
全壊・流失・大規模半壊			30万円	
半壊・床上浸水			20万円	
甚大な経済的損失	150	1.2%	10万円	15,000,000
合計	1000	8.1%		150,000,000

(注1) 罹災状態は、主たる家計維持者の罹災状態を示す。

(注2) 予想割合は、学生数=12300とした数。

表4-2 東日本大震災緊急給付奨学金の試算 (その2)

罹災状態	予想人数	予想割合	奨学金給付額	給付総額 (円)
死亡・行方不明	10	0.1%		5,000,000
全壊・流失・大規模半壊			50万円	
半壊・床上浸水			40万円	
原発からの避難			40万円	
死亡・行方不明			30万円	
全壊・流失・大規模半壊	400	3.3%	20万円	80,000,000
半壊・床上浸水	240	2.0%	10万円	24,000,000
原発からの避難	40	0.3%		10,000,000
死亡・行方不明			40万円 (再掲)	
全壊・流失・大規模半壊			30万円	
半壊・床上浸水			20万円	
甚大な経済的損失	150	1.2%	10万円	15,000,000
合計	840	6.8%		134,000,000

(注1) 罹災状態は、主たる家計維持者の罹災状態を示す。

(注2) 予想割合は、学生数=12300とした数。

V 授業料減免と新しい給付奨学金による本学の「持ち出し分」

表5-1(a) 授業料減免額の「持ち出し分」

[補助率 1/2 のケース]

ケース	総額	減免額	補助金予想額	減免：大学負担	(未納) 退学者増加分	実質的負担
予想(3月30日)	235,947,250	148,706,250	74,353,125	74,353,125	87,241,000	161,594,125
その1(表3-1)	237,930,000	223,510,000	111,755,000	111,755,000	14,420,000	126,175,000
その2(表3-2)	209,090,000	194,670,000	97,335,000	97,335,000	14,420,000	111,755,000

表5-1(b) 新しい給付奨学金制度による「持ち出し分」

[補助率 1/2 のケース]

ケース	総額		補助金予想額	給付：大学負担		実質的負担
予想(3月30日)	0		0	0		0
その1(表3-1)	150,000,000		75,000,000	75,000,000		75,000,000
その2(表3-2)	134,000,000		67,000,000	67,000,000		67,000,000

表5-1(c) [補助率 1/2 のケース]

ケース	総額		補助金予想額	大学負担額		実質的負担
予想(3月30日)	235,947,250		74,353,125	74,353,125		161,594,125
その1(表3-1)	387,930,000		186,755,000	186,755,000		201,175,000
その2(表3-2)	343,090,000		164,335,000	164,335,000		178,755,000

表5-2(a) 授業料減免額の「持ち出し分」

[補助率 2/3 のケース]

ケース	総額	減免額	補助金予想額	減免：大学負担	(未納) 退学者増加分	実質的負担
予想(3月30日)	235,947,250	148,706,250	99,137,500	49,568,750	87,241,000	136,809,750
その1(表3-1)	237,930,000	223,510,000	149,006,667	74,503,333	14,420,000	88,923,333
その2(表3-2)	209,090,000	194,670,000	129,780,000	64,890,000	14,420,000	79,310,000

表5-2(b) 新しい給付奨学金制度による「持ち出し分」

[補助率 2/3 のケース]

ケース	総額		補助金予想額	給付：大学負担		実質的負担
予想(3月30日)	0		0	0		0
その1(表3-1)	150,000,000		100,000,000	50,000,000		50,000,000
その2(表3-2)	134,000,000		89,333,333	44,666,667		44,666,667

表5-2(c) [補助率 2/3 のケース]

ケース	総額		補助金予想額	大学負担額		実質的負担
予想(3月30日)	235,947,250		99,137,500	49,568,750		136,809,750
その1(表3-1)	387,930,000		249,006,667	124,503,333		138,923,333
その2(表3-2)	343,090,000		219,113,333	109,556,667		123,976,667

平成23年4月28日

常務理事会
東北学院震災復興対策委員会 様

図書館長・図書部長

中川 清和



地震災害見舞金の受領ならびに使途について

東日本大震災の見舞金として本学図書館に対し、台北市情報関連大手出版社漢珍數位圖書股份有限公司、Transmission Books Microinfo Co., Ltd.様から（株）雄松堂書店を介し現金20万円の寄付がありました。

東日本大震災の被災者の中には本学の図書館から図書資料の貸出しを受けている学生もおります。そして貸与している図書資料の流失、汚損、破損について相談も寄せられ対応が求められております。本来、図書資料の損傷については利用者本人の弁済が原則となっておりますが、被災者の負担を軽減するためにも受領した災害見舞金を図書資料の修復に充当することが適当ではないかと考えております。

また、震災により書架から落下した多くの図書資料が損傷を受けており修復費用の一部としても充当できればとも思っております。よろしくご配慮願います。

見舞金（現金）は、寄付金として校費に繰入れした後に、使途のご検討をお願い申し上げます。

東北学院大学図書館 殿

2011年4月22日

株式会社 雄松堂書店

代表取締役 新田満夫



地震災害見舞金の件

このたびの大災害につきましては図書館としても幾多の被害に直面されとことを知り心からのお見舞いを申し上げます。

当社と相互に代理店契約を結び特にデジタル型商品について日本と台湾の大学市場に両社の商品を提供しながら長く信頼関係にある台北市の情報関連大手出版社“漢珍數位圖書股份有限公司、Transmission Books Microinfo Co.,Ltd. (TBMC)”から災害の影響を受けた当社のお客様に台湾からの気持ちとして寄付してほしいと要請を受けました、先方の意思を尊重して検討させていたき、貴図書館に下記を災害見舞金としてお届けさせていただきますのでご受領いただきたくお願いいたします

200,000円

平成 23 年 4 月 29 日

東日本大震災被災に伴う保育料等の取り扱い（案）

東北学院幼稚園

東北学院幼稚園は、東日本大震災に伴う特別措置として保育料等の取り扱いを次のとおりとする。

1. 平成 23 年度 4 月分の保育料を半額とする。
2. 平成 23 年度スクールバスの I 期分（4 月から 7 月）利用料のうち、4 月分相当額分の利用料 3,000 円（片道利用者は 1,500 円）を免除する。なお、利用額総額が異なる年少児の場合も同額免除する。
3. 平成 23 年度入園児の被災に伴う入園辞退者には、入園料、施設設備資金及び教具費の全額を返金する。
4. この取り扱いは平成 23 年 4 月 1 日から施行し、平成 23 年 9 月 30 日に失効する。

平成 23 年 5 月 6 日

財務部長 高 橋 秀 悦 殿

施設部長 佐々木 文 彦



多賀城 6 号館空調設備工事について（お願い）

平素は、施設部業務への格別のご配慮及びご理解をいただき、感謝いたしております。

さて、3 月 11 日に発生した東日本大震災において多賀城キャンパス 4 号館ボイラーの煙突に亀裂が入り、倒壊の危険性が懸念され現在撤去作業を行っております。4 号館ボイラーによる暖房の供給は 3 号館・4 号館・5 号館・6 号館となっており、3 号館から 5 号館は既に空調設備が設置済みであり、6 号館については平成 23 年度予算に申請をしておりました。

既存のボイラー煙突は上記のとおり修復が出来ない状況にあり、ボイラーを稼動させて 6 号館に暖房を送るためには新たに煙突を設置（概算見積額 25,000,000 円）しなければなりません。この場合煙突の利用は 6 号館に空調設備を設置するまでの期間となり短期間の代替となります。又当然のことながら 6 号館への空調設備の設置により煙突の新設は必要なくなります。

つきましては、6 号館空調設備工事の予算措置について格段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

御見積書

見積No. 96-00004
平成 21 年 10 月 27 日

学校法人東北学院 殿

見積金額

うち工事価格

消費税額

ただし内訳は別紙見積内訳書のとおりです。

工事件名 東北学院大学多賀城キャンパス 6 号館空調設備更新工事

工事場所 多賀城市中央 1-13-1

御支払条件 御契約条件による

見積有効期間 30 日間

上記のとおり御見積申し上げます。

摘要 電気と機械の合算見積りです。

市場単価により異なる場合があります。

その際は再度、御見積書を提出させていただきます。

財務部長



財務課長



平成23年5月9日

財務部長

高橋秀悦 殿

広報部長

宮城光信



オープンキャンパス関連業務の災害復興資金からの拠出について（お願い）

平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の影響により、現在、JR常磐線の亘理以南の復旧の目処が立っておらず、南相馬市および相馬市付近の受験生が、本学オープンキャンパスに来場いただくのが困難な状況になっております。

そこで、本学といたしましては、既存の東北各地からの無料送迎バスに加え、「原町・相馬」からの無料送迎バスを運行する計画を進めております。

原町・相馬地区の受験生は、延べ数で、2009年度が164名、2010年度が127名と非常に多く、在学生も一部通学圏内になっており、入試広報において重要な拠点であると考えております。

加えて、被災地の受験生が交通の便の関係で、本学オープンキャンパスに来場できないこともあり、ホームページ（Step!TG）内において、バーチャルオープンキャンパスサイトを立ち上げ、インターネットを通じ、本学のオープンキャンパスを疑似体験できるような環境を作りたいと考えております。

このバーチャルオープンキャンパスサイトは、被災地の受験生はもちろんのこと、遠方に居住し、本学オープンキャンパスに直接訪れることのできない受験生にも、効果が大きいものと考えております。

つきましては、別紙内容に基づき予算を変更いたしたく、災害復興資金からの拠出につきまして、格段のご配慮を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

No	項目(内容)
1	OCバス代【190-1006-001(管:旅費交通費)】 継続 示達額 3,665,000 円(見積書添付) ■原ノ町・相馬地区無料送迎バス代金 <u>233,500 円</u> を追加 変更額 <u>3,899,000 円</u>
2	OC地区バス雑費(朝食代)【190-1006-701(管:雑費)】 継続 示達額 200,000 円 ■原ノ町・相馬地区参加者のための朝食代(45人分、@500円) <u>23,000 円</u> を追加 変更額 <u>223,000 円</u>
3	OCバーチャルサイト製作【190-1006-708(管:委託費)】 新規 新規追加 <u>1,050,000 円</u> (見積書添付) ■OCに来場できない被災者に対するホームページ上のOC擬似体験サイト製作 追加額 <u>1,050,000 円</u>

合計:1,306,500 円の追加(増額)となります。

【参考】

■原ノ町・相馬エリアからの受験生・入学生の情報

年度	受験者数	合格者数	入学生数
2009年度	164 (79)	65 (51)	37
2010年度	127 (69)	77 (53)	32

※データは、相馬高校、相馬東高校、小高工業高校、原町高校から抽出

※()内は実数

※相双地区からは、受験生および通学生も多く、受験生は上記数、在學生は相馬市、南相馬市、双葉郡、相馬郡あわせて74名の在學者がいます。

本学では、相双地区の受験対象の高校生について、非常に重要な広報活動の場所であると考えております。

学校法人 東北学院 広報部 御中

件 名 原ノ町・相馬・新地発 交通費等として

毎度格別のご高配を頂きましてありがとうございます。
ご旅行代金の御見積を下記の通りご提出させていただきます。
何卒宜しくお願いいたします。

二旅行代金(消費税等込)

¥233,550

[illegible]

御 見 積 書

平成23年4月27日

学校法人 東北学院 御中

下記の通りお見積り申し上げます。
何卒御用命賜りたくお願い申し上げます。

件 名 オープンキャンパスバーチャルコンテンツ制作

担当者

合計金額 ￥1,050,000.-

品 名	数 量	単 価	金 額	消費税等	合計金額
バーチャルコンテンツ制作					
取材費	1 式	150,000	150,000	7,500	157,500
グランドデザイン/設計費	1 式	200,000	200,000	10,000	210,000
画像素材加工費	1 式	100,000	100,000	5,000	105,000
3Dオーサリング費	1 式	250,000	250,000	12,500	262,500
ディレクション					
コンテンツメイクアップ費	1 式	100,000	100,000	5,000	105,000
コーディング費	1 式	120,000	120,000	6,000	126,000
動作検証費	1 式	80,000	80,000	4,000	84,000
備考:	合 計 金 額		1,000,000		
	消 費 税 等		50,000		
	税 込 み 合 計 金 額		1,050,000		
	納 入 期 限				
	納 入 場 所				
	支 払 条 件				
	御見積有効期限		見積提出後3ヶ月間		

平成 23 年 5 月 11 日
東北学院震災復興対策委員会
(問題提起 財務部長)

日帰り出張旅費支給の件

東北学院大学旅費規程第 13 条には

「日帰り出張の日当は、旅程（往復）又は拘束時間に基づき次のとおり支給する。

一 旅程 50 キロメートル以上 100 キロメートル未満の場合 別表に定める額の 2 分の 1 の額

二 旅程 100 キロメートル以上、又は拘束 5 時間以上の場合 別表に定める額」

と定められている。これについて、学内では、旅程 50 キロ未満の場合、5 時間未満の業務であれば「日当なし」、また旅程 50 キロ未満の場合でも 5 時間以上の業務に従事すれば、「日当支給」と学内では解釈されている（なお、一般教職員の日当は、平日 3,700 円（日祝日 5,550 円）である）。

しかしながら、仙台市の「職員等の旅費に関する条例」第 6 条第 1 項で定めた「旅費の種類は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃、日当、宿泊料、食卓料、移転料、着後手当、扶養親族移転料、支度料、旅行雑費及び死亡手当とする。」に代わるものとして、同第 25 条において「日額旅費」を支給する旨の規定がある。したがって、仙台市内及び近郊の市町村への旅行（出張）に対しては、日当なしの「日額旅費」のみの支給になっている。支給額は、交通機関を利用したときの運賃（料金）の実費または車賃相当額（1km あたり 37 円換算）となっている。なお、近郊の市町村とは、「塩釜市、多賀城市、名取市、岩沼市、松島町、七ヶ浜町、大郷町、大和町、富谷町、利府町、川崎町及び大衡村」をいう。

また、「国家公務員等の旅費に関する法律」第 6 条 1 項においても、「旅費の種類は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃、日当、宿泊料、食卓料、移転料、着後手当、扶養親族移転料、支度料、旅行雑費及び死亡手当とする。」定められていますが、同第 26 条において「第 6 条第 1 項に掲げる旅費に代え日額旅費を支給する旅行は、左に掲げる旅行のうち当該旅行の性質上日額旅費を支給することを適当と認めて財務大臣が指定するものとする。」と規定されている。具体的には（第 26 条の左に掲げる旅行は）、

1. 測量、調査、土木営繕工事、巡察その他これらに類する目的のための旅行
2. 長期間の研修、講習、訓練その他これらに類する目的のための旅行
3. 前 2 号に掲げる旅行を除く外、その職務の性質上常時出張を必要とする職員の出張となっている。

本学においても、仙台市内及び近郊の市町村への旅行（出張）や、調査、研修、講習、訓練その他に類する旅行（出張）に対しては、交通機関を利用したときの運賃（料金）または車賃相当額を支給することで十分であり、「日当は不要」と考える。

〔参考1〕 市内出張により「日当支給」の件数が多い課

入試課 市内で開催される入試説明会 → 全員が、出張願に「5時間以上」を記載

教務課 (教員) 教育実習指導 → 例外を除き、出張願に「5時間」と記載

各学科 (教員) 高校訪問 → 例外を除き、出張願に「5時間」と記載

事務職員 市内で開催される研修会、講習会等→ほぼ全員が出張願に「5時間以上」を記載

〔参考2〕 市内出張の日当が支給されないケース

キャンパスを移動しての業務

学外施設(名取、青根、七ヶ浜、石巻)での業務

高校への出前授業(謝金1万円が支給されていることによる)

東日本大震災 私立学校施設被災状況調査票

1. 法人番号	041002	3. 回答年月日	
2. 法人名	東北学院		

4. 部署・役職名	法人事務局庶務部庶務課 課長	5. 担当者名	斎藤英夫
6. TEL	022-264-6464	7. E-Mail	hsaito@staff.toboku-gakuin.ac.jp

被災状況調査

8. 整理番号	9. 学校区分コード	10. 学校名	11. 所在地(市町村名)	12. 区分コード	13. 名称	14. 延床面積(合計:㎡)	15. 建物の被災状況	16. 建物の被災額(千円)	17. 建物以外(工作物・土地・設備)の被災状況	18. 建物以外の被災額(千円)	19. その他(施設や設備等以外に要した経費の項目)	20. その他の額(千円)	21. 被災場所・避難所としての指定の有無
1	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	本館	1,893	小破	8,971					
2	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	礼拝堂	1,643	小破	213,640					
3	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	1号館(部室棟含む)	4,182	小破	17,835					
4	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	2号館	1,225	小破	13,684					
5	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	3号館	2,549	小破	21,551					
6	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	4号館	3,932	中破	62,558					
7	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	5号館	5,203	小破	40,326					
8	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	6号館	4,606	小破	10,699					
9	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	7号館	4,438	小破	49,438					
10	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	8号館	6,357	小破	116,053					
11	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	体育館	1,681	小破	5,719					
12	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	90周年記念館	6,584	小破	110,077					
13	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	図書館	6,825	小破	35,030					
14	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	大学院	2,445	小破	9,348					
15	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	商品学研究室	371	小破	1,180					
16	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	文芸連	1,065	小破	1,909					
17	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	音楽館	336	小破	2,634					
18	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	シップル館	326	小破	141,630					
19	1	東北学院大学	仙台市青葉区	1	法科大学院・総合研究棟	5,551	小破	4,790					
20	1	東北学院大学	多賀城市	1	1号館	4,706	小破	7,844					
21	1	東北学院大学	多賀城市	1	2号館	7,750	小破	25,701					
22	1	東北学院大学	多賀城市	1	3号館	5,103	小破	76,329					
23	1	東北学院大学	多賀城市	1	4号館	4,283	中破	54,158					

22. 備考	
--------	--

東日本大震災 私立学校施設被災状況調査票

1. 法人番号	041002	3. 回答年月日	
2. 法人名	東北学院		

4. 部署・役職名		5. 担当者名	
6. TEL		7. E-Mail	

被災状況調査

8. 整理番号	9. 学校区分コード	10. 学校名	11. 所在地(市町村名)	12. 区分コード	13. 名称	14. 延床面積(合計:㎡)	15. 建物の被災状況	16. 建物の被災額(千円)	17. 建物以外(工作物・土地・設備)の被災状況	18. 建物以外の被災額(千円)	19. その他(施設や設備等以外に要した経費の項目)	20. その他の額(千円)	21. 被災場所・避難所としての指定の有無
24	1	東北学院大学	多賀城市	1	5号館	2,925	小破	12,570					
25	1	東北学院大学	多賀城市	1	6号館	3,914	小破	15,119					
26	1	東北学院大学	多賀城市	1	7号館(機械工場)	1,251	小破	2,245					
27	1	東北学院大学	多賀城市	1	8号館	398	小破	1,059					
28	1	東北学院大学	多賀城市	1	9号館(図書棟)	1,746	小破	5,387					
29	1	東北学院大学	多賀城市	1	情報処理センター	642	小破	5,119					
30	1	東北学院大学	多賀城市	1	図書館	2,775	小破	5,137					
31	1	東北学院大学	多賀城市	1	体育館	2,588	小破	11,054					
32	1	東北学院大学	多賀城市	1	礼拝堂	1,234	小破	4,174					
33	1	東北学院大学	多賀城市	1	工学基礎教育センター	1,731	小破	12,326					
34	1	東北学院大学	多賀城市	1	ハイテクリサーチセンター	370	小破						
35	1	東北学院大学	多賀城市	1	バイオテクノロジーリサーチコモン棟	443	小破						
36	1	東北学院大学	多賀城市	1	旭ヶ丘寄宿舍	1,044	小破	16,439					
37	1	東北学院大学	多賀城市	2	工作物				間知石擁壁崩壊	8,836			
38	9	東北学院幼稚園	多賀城市	1	礼拝堂(多目的ホール)	921	小破	639					
39	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	1号館	5,699	小破	321					
40	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	2号館	17,346	小破	20,371					
41	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	3号館	6,404	小破	13,097					
42	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	4号館	6,116	小破	12,957					
43	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	5号館	10,799	小破	10,324					
44	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	コミュニティセンター	5,272	小破	10,747					
45	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	礼拝堂	3,717	小破	2,438					
46	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	体育館	7,555	中破	91,565					

東日本大震災 私立学校施設被災状況調査票

1. 法人番号	041002	3. 回答年月日	
2. 法人名	東北学院		

4. 部署・役職名		5. 担当者名	
6. TEL		7. E-Mail	

被災状況調査

8. 整理番号	9. 学校区分コード	10. 学校名	11. 所在地(市町村名)	12. 区分コード	13. 名称	14. 延床面積(合計:㎡)	15. 建物の被災状況	16. 建物の被災額(千円)	17. 建物以外(工作物・土地・設備)の被災状況	18. 建物以外の被災額(千円)	19. その他施設や設備等以外に要した経費の項目	20. その他の額(千円)	21. 被災場所・避難所としての指定の有無
47	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	部室棟	2,258	小破						
48	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	渡り廊下	615	小破	2,749					
49	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	男子寄宿舍	904	小破	16,750					
50	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	女子寄宿舍	2,704	小破	432					
51	1	東北学院大学	仙台市泉区	1	総合運動場管理センター	2,080	小破	69,550					
52	1	東北学院大学	仙台市泉区	3	土地				建物廻り地盤沈下、隆起、割れ				
53	1	東北学院大学	仙台市泉区	2	工作物				花壇、ベンチ等にクラック	9,096			
54	4	東北学院榴ヶ岡高等学校	仙台市泉区	1	家庭科実習棟	1,604	小破	243					
55	4	東北学院榴ヶ岡高等学校	仙台市泉区	1	柔剣道場	1,123	小破	243					
56	4	東北学院榴ヶ岡高等学校	仙台市泉区	1	校舎	6,123	小破	969					
57	4	東北学院榴ヶ岡高等学校	仙台市泉区	1	管理棟	1,462	小破	1,271					
58	4	東北学院榴ヶ岡高等学校	仙台市泉区	1	体育館	3,698	小破	5,574					
59	4	東北学院榴ヶ岡高等学校	仙台市泉区	1	礼拝堂	738	小破	244					
60	5	東北学院中学校・高等学校	仙台市宮城野区	1	鐘楼・礼拝堂・教室・管理棟	35,776	小破	94					
61	5	東北学院中学校・高等学校	仙台市宮城野区	2	工作物				グランド廻り防球ネット支線の緩み	1,946			
62	5	東北学院中学校・高等学校	仙台市宮城野区	3	土地				建物廻り地盤沈下、隆起、割れ				
63	1	東北学院大学	仙台市青葉区	4	設備				ガラス、ガラス、プロジェクター、おと、音響等被災	26,057			
64	1	東北学院大学	多賀城市	4	設備				記録装置、顕微鏡、コンピュータ、書籍等被災	486,605			
65	1	東北学院大学	仙台市泉区	4	設備				ガラス、ガラス、プロジェクター、音響等被災	37,078			
66	1	東北学院大学	多賀城市	1	高電圧発生室		小破	489					
67	1	東北学院大学	多賀城市	3	土地				地盤沈下、土間クラック	3,125			
68	1	東北学院大学	仙台市青葉区	3	土地				地盤沈下、土間クラック	6,813			
69	1	東北学院大学	名取市	1	シーサイドハウス	520	全壊・半壊	64,353					

22. 備考

※被災額欄が空欄の部分は現在調査中のものとなります。また、整理番号63～65につきましては、現在、調査中のものが多くあり、今後加算、あるいは除算するケースが考えられます。

東日本大震災 私立学校施設被災状況調査票

1. 法人番号	041002	3. 回答年月日	
2. 法人名	東北学院		

4. 部署・役職名	5. 担当者名
6. TEL	7. E-Mail

被災状況調査

[illegible]

22 備考

※被災額欄が空欄の部分は現在調査中のものとなります。

東日本大震災 私立学校施設被災状況調査票

(単位:千円)

	建物被災額	建物以外の被災額	その他の額	計
調査票1	1,031,104	0	0	1,031,104
調査票2	253,088	8,836	0	261,924
調査票3	162,961	570,720	0	733,681
調査票4	0	1,986	0	1,986
計	1,447,153	581,542	0	2,028,695

※被災額欄のうち調査中のものも多々あり、今後金額の増減が予想されます。